

江戸東京

たてももの園だより48

Edo-Tokyo Open Air
Architectural Museum

- ◎武蔵野の歴史と考古学
―江戸東京たてももの園収蔵品展―
- ◎収蔵建造物紹介 東京都指定有形文化財 旧自証院霊屋
- ◎たてももの園セミナー／体験！発見！職人さん
- ◎米国野外博物館をたずねて ①
- ◎スケッチブック／たてももの園日誌

武蔵野の歴史と考古学

—江戸東京たても園収蔵品展—

平成28年5月24日(火)～平成29年1月22日(日)

から近代までの歩みや、武蔵野に伝わる有形・無形の風俗・習慣に関するさまざまな展示を行ってきました。また、野外展示施設が併設され、縄文・弥生時代の住居や古墳を復元した「古代の村」や、江戸時代の民家や水車小屋などが建てられた「江戸の村」が展示されています。

当園は、郷土館が収集してきた武蔵野の歴史を物語るこれらの資料群を受け継ぎました。なかでも考古資料は特に充実しており、戦後間もない1950年代から70年代後半の間に、郷土館の学芸員が東京都域に限らず関東一円の遺跡を発掘調査したものでした。その発掘成果は当時の考古学会で注目を集めた学術的価値の高い貴重なものです。開園以来、当園の常設展としてこれらの資料群を活用し、継続的に展示・公開してきました。今年度は、それらのなかから、主に東京都内の縄文時代の遺跡出土遺物を中心に紹介します。

縄文時代は、草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の6つの時期に分けられます。

す。今回の展示では、各時期ごとに遺跡とその出土品を紹介しています。まず草創期・早期の遺跡として、橋立岩陰遺跡を取り上げました。この遺跡は埼玉県秩父市の遺跡で都内のものではありませんが、草創期の土器の破片や石製品、骨製品などが数多く出土しました。調査が行われたのは、1961年(昭和36)12月で、このうち、全国でも著名な岩陰遺跡(張り出した岩盤を屋根代わりにして風雨を避けて暮らした痕跡のある遺跡)として知られるようになりました。

前期の遺跡として、飛鳥山公園内遺跡と中台馬場崎貝塚を紹介しています。飛鳥山公園内遺跡は、その名のおり北区王子の飛鳥山公園内の遺跡で、二度発掘調査を行っています。そのうち、1960年(昭和35)2月に実施した第二次調査時に、縄文時代前期の土器などが出土しました。中台馬場崎貝塚は、板橋区若木三丁目にある遺跡で、1967年(昭和42)1月に発掘されました。縄文時代前期の竪穴住居跡三軒を調査し、多数の土器片ならびに土器などを検出しました。



片口付深鉢形土器 (縄文時代前期 飛鳥山公園内遺跡出土)

江戸東京たても園は、東京都江戸東京博物館の分館として、1993年(平成5)3月28日に都立小金井公園内に開園しました。その2年前まで、この地には「武蔵野郷

土館」という博物館がありました。武蔵野郷土館は、小金井公園が開園した1954年(昭和29)1月に開館し、旧光華殿現在のビクターセンター)を展示室として、武蔵野の先史・古代



装飾把手土器 (縄文時代中期 中原遺跡出土)

製石斧などの石製品、土製の耳飾などが見つかりました。また中原遺跡は、八王子市犬目町の八王子カントリークラブ内の遺跡で、1960年(昭和35)3月に発掘調査が行われました。この遺跡からは、完形のものも含む多数の土器が見つかったほか、打製石斧などの石製品も多

く出土しました。畑貝塚の調査を1961年(昭和36)3月に実施し、土器をはじめ石製品や多量の骨製品などを検出しました。このほか、頭部に土器の底部を被せた屈葬の男性人骨が出土しました。この人骨は、郷土館を訪れた多くの方々が記憶しているよう、今回もじっくりとご覧になる方が多いようです。一方の下布田遺跡は、1968年(昭和43)と71年(昭和46)に調査を行い、土器や多量の石製品が出土しました。なかでも石鏃の多さは特徴的で、500点を超える数が見つかっています。加えて、鮮やかに朱が残る、大きな土製の耳飾が出土しました。現在、この耳飾は、国指定重要文化財に指定されています。今回はレプリカを展示していますが、10月29日から11月6日にかけて開

催される「東京文化財ウィーク2016」期間中は実物を展示する予定です。このほか、喜代沢遺跡は青梅市駒木町二丁目の遺跡で、1965年(昭和40)から76年(昭和51)の間に計8回の調査を行いました。ひとつの遺跡をこれだけ多く調査したのは、郷土館ではこの遺跡だけです。

このほか、今回は郷土館のころから多くの来館者に親しまれてきた「丸木舟」に焦点をあて、その製作方法に迫る研究成果を紹介しています。これは首都大学東京考古学研究室が実施したもので、福井県の若狭三方縄文博物館とともに、2002年(平成14)8月から翌年の9月にかけて、縄文時代の丸木舟を当時の手法で復元製作する実験を行いました。丸

木舟は、福井県三方上中郡若狭町の鳥浜貝塚から出土したものを参考にし、出土した磨製石斧に木製の柄をつけた斧を復元製作したものを使用して、実験を行いました。ほとんどすべての工程を人力のみで製作した丸木舟は、全長6m50cm、最大幅55cm、厚さ7cm、深さ17cmで、完成後、博物館のイベントで実際に使用されました。左右のバランスが良好で、大人4人が乗船、航行しても十分に耐えるものであったそうです。そのときの実験の様子を、実際に使用した道具とともに映像で紹介しています。

縄文時代の遺跡をまとめて紹介する展示は今回が初めてです。

このほかにも多様な考古資料が保管されていますので、今後さまざまなテーマで紹介していければと思います。(学芸員 阿部由紀洋)

次に中期の遺跡として、蛇崩遺跡、貫井遺跡(第四小学校)、中原遺跡を紹介しています。この中の貫井遺跡は、当園の立地する小金井市内の貫井南町三丁目にある小金井第四小学校周辺の遺跡です。1957年(昭和32)8月に発掘が行われ、縄文時代中期の竪穴住居跡二軒を調査し、土器や打

後期から晩期の遺跡としては、武蔵野公園遺跡(後期)、広畑貝塚(後期・晩期)、下布田遺跡(後期・晩期)、喜代沢遺跡(後期・晩期)を取り上げました。このうち広畑貝塚(茨城県稲敷市飯出字ひる畑)と下布田遺跡(調布市布田六丁目)は現在国指定史跡となっています。郷土館では、広

から近代までの歩みや、武蔵野に伝わる有形・無形の風俗・習慣に関するさまざまな展示を行ってきました。また、野外展示施設が併設され、縄文・弥生時代の住居や古墳を復元した「古代の村」や、江戸時代の民家や水車小屋などが建てられた「江戸の村」が展示されています。



土製耳飾 (縄文時代後期 下布田遺跡出土)

女学生と丸木舟 (講談社/写真提供)



丸木舟製作実験の様子 (首都大学東京考古学研究室/写真提供)

次回展覧会
■特別展
「川崎平右衛門」展(仮称)
平成29年2月7日(火)～
5月7日(日)

「建築博物館を楽しもう！」

世界中には、たくさんの「建築博物館」が存在します。失われゆく歴史的建造物を移築し、後世に伝えていく野外博物館をはじめ、各時代の建築道具を専門に収集する道具館や、図面・スケッチなどの建築資料のアーカイブを行う資料館など。さまざまな機能をもった建築博物館は、建築文化の継承と発展に貢献する重要な施設であると同時に、いろいろな見学の仕方があり、楽しく学べるエンターテインメント空間でもあります。建築博物館の多様な魅力を楽しみましょう！

1
10月7日(金)
国立近現代建築資料館
— その役割と楽しみ方 —
山名善之(東京理科大学教授)



国立近現代建築資料館 資料室
国立近現代建築資料館 / 写真提供

2
10月21日(金)
海外の事例に学ぶ
— イギリス、アメリカの建築博物館事情 —
阿部由紀洋(学芸員)、田中裕二(学芸員)、
米山勇(研究員)



ワールド&ダウンランド野外博物館
(サセックス/イギリス)

3
11月4日(金)
明治村からたてもの園へ
— ライバルへのメッセージ —
中川武(博物館明治村館長)
(聞き手: 米山勇)



中川 武 明治村館長
博物館明治村 / 写真提供

●各回 定員200名・受講料1,000円(3回セット料金2,400円)
会場: 江戸東京博物館ホール(墨田区横網 1-4-1) 14:00 ~ 15:30

※詳細は、江戸東京博物館のホームページをご参照ください。

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp/event/culture/pre/> [えどはくカルチャー](#) [検索](#) [📧クリック](#)

体験！発見！職人さん

東京で活躍中の職人さんたちの技や道具を間近で目にするだけでなく、実際に体験もできます。左官体験やちびっ子クラフトコーナーもご用意しています。

今年は小金井公園で行われるイベント「スポーツ博覧会・東京2016」と同日開催です。

平成 28 年 10 月 8 日(土)、9 日(日) 10:30 ~ 16:00

※開園時間は 9:30 ~ 16:30 (入園は 16:00 まで)

会場: 植村邸・川野商店・万徳旅館・子宝湯・東の広場ほか

※参加方法など詳細は、ホームページをご参照ください。

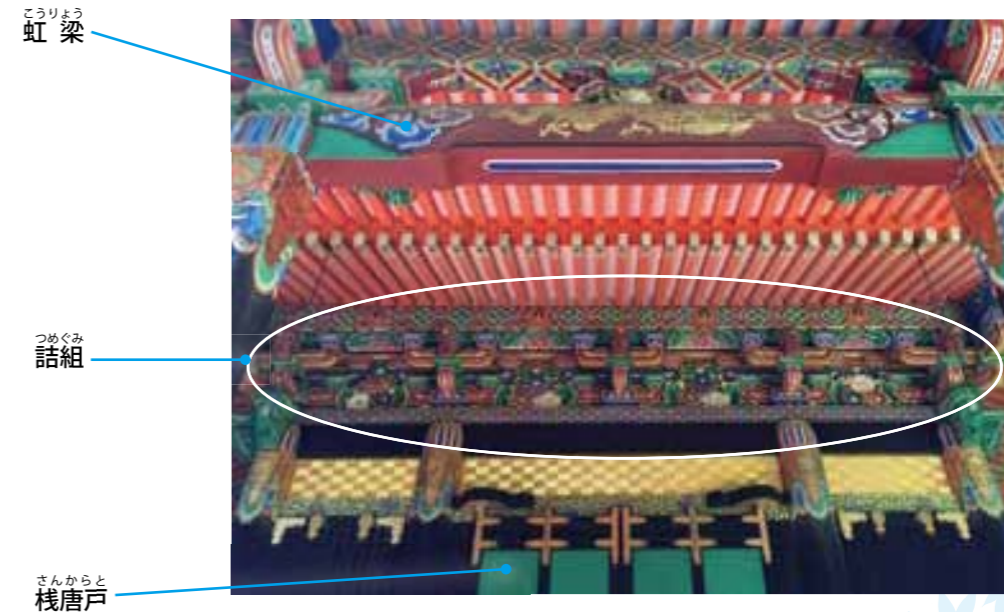
<http://www.tatemonoen.jp> [たてもの園](#) [検索](#) [📧クリック](#)



※写真は昨年の様子です。

この建造物は江戸幕府三代將軍徳川家光の側室、お振の方を祀った靈廟建築です。靈廟とは実在した人物を祀る宗教施設のことをいい、日光や上野の東照宮などが有名です。

靈廟は、建築的には神社の流れにあり、細部の緻密な彫刻が、近世神社建築の特質を示しています。一方、極彩色や金箔、黒漆に彩られた華麗な装飾は、一般の神社建築には見られない、靈廟ならではの特徴といえるでしょう。



ここで、自証院靈屋の建築的特質を、少し詳しく見てみましょう。

自証院靈屋は、入母屋造銅板葺きで方三間(間口・奥行とも柱間が3つ)、正面中央一間の屋根を手前に葺き下ろし、向拝(参詣人の礼拝のための空間)としています。柱の上だけでなく柱間にも組物を配する手法は「詰組」といい、正面及び側面の棧唐戸(棧を縦横に組んだ装飾的な扉)とともに、鎌倉時代に伝わった様式、禅宗様の影響を示しています。

横材の端部が柱の外に突き出した部分を木鼻といいます。自証院靈屋の虹梁端部は象を模った「象鼻」となっています。これとそっくりなものに「猿鼻」がありますが、とがった耳の猿に比べ、象は耳が垂れているのが特徴です。

慶安5年(1652)の創建棟札には「大工甲良豊前守宗清」とあり、この建物の作事を担当したのは、幕府作事方大棟梁をつとめた甲良家であることがわかっています。甲良家三代宗清(宗賀)の手による建物には、上野大猷院(徳川家光)靈廟(台東区・現存せず)、護国寺本堂(文京区・国指定重要文化財)、善光寺本堂(長野市・



虹梁端部の象鼻。ポイントは垂れた耳。

国宝)などがあり、元禄期の日光東照宮修理も宗清は手がけています。旧自証院靈屋は、徳川幕府の建築営繕をつかさどった作事方大棟梁・甲良家の事跡を伝える貴重な遺構であるとともに、將軍夫人廟と同様ほとんど現存しない側室の靈屋としてきわめて貴重な建物です。

(研究員 米山 勇)

収蔵建造物紹介
東京都指定有形文化財(建造物)
旧自証院靈屋

米国外 博物館を 訪ねて

1

江戸東京たてもの園では、海外の野外博物館との連携を深める一環として、また、経年劣化の進んだ復元建造物・丸二商店の緊急修繕工事にあたり、木造建造物の修復方針を検討するため、他施設の事例の調査を進めています。平成27年度は、米国の野外博物館3施設を、学芸員の松井かおる・阿部由紀洋が調査しました。2回に分けて、たてもの園だよりで調査の内容をご紹介します。

ルイジアナ州立大学 田園生活博物館 (写真①②)

アメリカ南部の都市、ニュー・オーリンズから車で1時間30分、ルイジアナ州の州都バトンルージュの中心地にこの博物館は位置します。19世紀半ばにこの地でプランテーションを経営し、1920年代から長年の間広大な庭園を手がけたバーデン家の人々が、ルイジアナ州立大学の文化人類学・地理学研究チームとともに重ねてきた研究を基礎としています。1972年、同大学がバーデン家の敷地、建造物、庭園、さまざまな生活資料など



① 19世紀のプランテーションを再現した一画の奴隷小屋。この他、病棟、小学校、鍛冶屋、監督者の家、雑貨屋、厨房棟等が配置されている。

を同家から寄贈され、1981年に田園生活博物館として開館しました。25エーカー(約10ヘクタール)の広大な敷地に32棟の建造物を移築し、室内も当時の様子を再現することで、19世紀のルイジアナの庶民生活(奴隷小屋、監督者の家、厨房棟等)、18世紀から19世紀にかけてルイジアナに移住してきたヨーロッパ人の生活などを、紹介しています。



② 博物館の敷地内に墓地があり、博物館設立に寄与したバーデン家の人々もここに眠る。

この博物館はLouisiana State University Foundation Development and Non-Profit Foundationが管理・運営を行っており、入場料やミュージアムショップの売り上げ、博物館での結婚式・披露宴利用による収入といった財源で、運営費のほとんどをカバーしているそうです。

また、温暖な気候のため、アメリカのほとんどの野外博物館が休館する1月から3月の寒冷期も開館しています。併設のウインドラッシュガーデンは80年の歳月を経た野趣あふれる庭園で、ルイジアナ州立大学による農学研究の拠点となっています。

コロニアル・ ウィリアムズバーグ (写真③)

アメリカ合衆国東部、バージニア州の東部、ウィリアムズバーグは、イギリス植民地時代の一時期(1699年から1780年)の州都でした。20世紀初頭、牧師として赴任したW.A.R.グッドウィンは、ジョン・ロックフェラー2世らと共同開発し、植民地時代のウィリアムズバーグを再現すべく、当時の建築物を修復、再建して歴史地区を作り上げ、1928年に公開しました。長さ1マイ



③ イギリス植民地時代のバージニア州の州都としてのウィリアムズバーグを象徴する州議会議事堂。1705年創建の建造物を再現して1930年代に建てられた。

屋のカーテンなどは少し離れた場所に設置されているコスチューム・デザイン・センターで制作されます。この施設があるゾーンにはジョン・D・ロックフェラー工図書館、財団学芸員の研究室、美術館の収蔵庫、建造物の修復・保存部門の研究室もあります。研究室の扉にはペンキの成分表が貼られており、調査研究に基づく修復が行われていることを実感しました。

ヘンリー・フォード博物館 グリーン・フィールド・ビルッジ (写真④⑤)

アメリカ中西部ミズーリ州デトロイトの西隣ディアボーンにある「ヘンリー・フォード博物館」は、エジソン協会が管理・運営するアメリカ国内でも大規模な博物館複合施設です。アメリカの歴史を語る大小さまざまな標本資料(ヘンリー・フォードが収集した生活道具、ライト兄弟が発明した飛行機のモデル、国内外の歴代の自動車等)が展示されている屋内型展示施設に、83の歴史的建造物を展示している野外博物館(グリーン・フィールド・ビルッジ)が併設されています。同館では最近市内で発見され、収集されたローザ・パークスバス(黒人公権運動の発端となった事件の舞台となったバス)も修復のうえ、展示するなど、フォードのコレクションを

維持しつつ、そのコンセプトの延長になる資料を現在も集めています。

屋内施設の隣にはヘンリー・フォードが夫人と社交ダンスを楽しむために建てた、2階が舞踏室になっている「ラベットホール」があり、現在は結婚式の披露宴やイベント貸会場に使われています。エジソン協会は非営利団体で、博物館の入場料やグッズの収入のほか、館内での結婚式や一般のイベント利用による収入を運営費用にあて、フォード社からの補助金は受けていないそうです(設立当初からの基金は運営費にあてています)。今回訪問したいずれの野外博物館も結婚式・披露宴を、収入源として積極的に受け入れていました。

ホールの先に野外博物館「グリーン・フィールド・ビルッジ」の入口があり、7区画に分かれる80エーカー(約32ヘクタール)の敷地にライト兄弟が経営していた自動車店、ヘンリー・フォードの生家、エジソンが電球を発明した研究室などが建ち並び、来館者はT型フォード、馬車、機関車、外輪船で敷地内を移動することができます。

今回は、各施設の概要や運営についてご紹介しました。次号では各館に建造物の修復についてインタビューした調査成果をご紹介します。さらに詳細は『東京江戸東京博物館紀要(第7号)』に掲載の予定です。

(学芸員 松井かおる)

ル(約1600m)、幅約0.5マイル(800m)の敷地に600棟あまりの歴史的建造物が建ち並んでおり、非営利のコロニアル・ウィリアムズバーグ財団がそのすべてを管理・運営しています。議事堂など財団が再建・移築にあたった88棟を中心に、当時の服装をした人々による建物ツアー、さまざまな体験プログラム(煉瓦工、大工、桶屋、鍛冶屋等)、独立戦争の戦いを再現するパフォーマンスなどをチケットで行っています。このほか、クオリティの高い収蔵品レプリカの販売、歴史地区のレストラン、オフィシャルホテル、スパの経営、結婚式・披露宴の施設利用対応も同財団が行っています。

当時の製法で煉瓦を成型、乾燥、焼成する場を敷地内に持ち、当時の衣装や部



④ 冬季閉館中の敷地内を、T型フォードで見学。クラシックカーの乗り心地を体験することでタイムスリップ感覚が増幅される。



⑤ ライト兄弟が経営していた自転車店のディスプレイ。住居も家具や季節に合わせたインテリアが展示される。



梅雨の晴れ間の七月の休園日、静かな園内にうごめく屋根の上の人影！ すわ、忍者か!? と思いきや、植栽の整備をする植木職人さんでした。今日は、屋根瓦の下地の葺き土に根をはった雑草の駆除をしています。古民家の屋根に草が生えた光景は、一見のどかに見えますが、文化財の建物にはいただけません。根の成長で土が緩むことで瓦に隙が生じ雨漏りに通じます。瓦の隙からの雨は葺き土を流すため、負の連鎖!! 小さな草も侮れないのです。



【写真上・左】草を注意深くむしり除草剤をかける



土壁に撥水剤を塗る



土壁の敵! ドロバチ

さて、歩を進めると、あれ? 堀の陰にも人が!? こちらは蜂の防除作業です。昔ながらの土壁の土は、ドロバチの巣作りに便利な材料です。梅雨の晴れ間はドロバチもせせとお仕事をしています。蜂が傷めた土壁の穴を補修し、その上から仕上げに左官屋さんが撥水剤を塗っています。本来、撥水剤は必要なのですが、こうすると蜂が泥を採りにくくなるそうです。ドロバチはむやみに人を襲いません。反射的に追い払うと蜂も驚きますので、注意が必要です。

その土地の風土と共生してきた日本の家屋を守るには、自然とともに歩む工夫や手間が必要なのです。

(学芸員 友野千鶴子)

たてもの園日誌 2016年(平成28年)4月~9月

| | | | |
|-----------------|---|-------------------|---------------------------------------|
| 4/2(土)・3(日) | 第62回小金井桜まつり(園内:茶席・花席) | 6/28(火)~7/18(月・祝) | 網島家年中行事「お盆 盆棚の展示」 |
| 4/4(月) | 臨時開園 | 7/2(土)・3(日) | 七夕のつどい |
| 4/9(土)・10(日) | 伝統工芸の実演「手描友禅・竹工芸」 | 7/9(土)・10(日) | 伝統工芸の実演「江戸更紗染・三味線」 |
| 4/19(火)~5/8(日) | 温故知新・江戸東京の花見今昔展(共催:小金井公園桜守の会・小金井公園サービスセンター) | 7/20(水)~8/3(水) | 網島家年中行事「梅の土用干し」 |
| 4/23(土) | ミュージアムトーク「特別展『小金井の桜』みどころ」 | 7/22(金)・23(土) | ミュージアムトーク「人の一生と家の使われ方」 |
| 5/2(月) | 臨時開園 | 7/26(火)~9/4(日) | 夏季特別企画:ちょっと涼しいたてもの園 |
| 5/4(水・祝)・5(木・祝) | こどもの日イベント | 8/2(火)~14(日) | 日本全国記念貨幣・切手展(主催:東京都) |
| 5/10(火)~22(日) | 第14回桜写真展(共催:小金井公園桜守の会・小金井公園サービスセンター) | 8/6(土)・7(日) | 夜間特別開園:下町夕涼み |
| 5/14(土)・15(日) | 伝統工芸の実演「和裁縫・螺鈿時絵」 | 8/13(土)・14(日) | 伝統工芸の実演「つりしのぶ・型小紋」 |
| 5/17(火)~9/4(日) | 高橋是清邸内展示「幼少期からペルー銀山開発まで」 | 8/16(火)~28(日) | 小金井薪能写真展(共催:小金井薪能) |
| 5/21(土) | 卓月茶会(たてもの園ボランティア 茶道部) | 8/20(土) | こども茶会(たてもの園ボランティア 茶道部) |
| 5/24(火)~1/22(日) | 「武蔵野の歴史と考古学-江戸東京たてもの園収蔵品展-」 | 8/26(金)・27(土) | ミュージアムトーク「東京のたてものと文学」 |
| 5/28(土) | ミュージアムトーク「縄文時代の丸木舟」 | 9/9(金)~15(木) | 網島家年中行事「十五夜飾り」 |
| 6/11(土)・12(日) | 伝統工芸の実演「籠甲細工・念珠」 | 9/10(土)・11(日) | 伝統工芸の実演「東京手描友禅・とんぼ玉」 |
| 6/11(土) | 網島家年中行事「梅干しづくり」 | 9/23(金)・24(土) | ミュージアムトーク「民家の間取りと格式」 |
| 6/25(土) | ミュージアムトーク「看板建築の商店」 | 9/24(土)・25(日) | 東京大茶会 2016 (主催:東京都、アーツカウンシル東京) <入園無料> |

INFORMATION

開園時間 4月~9月 9:30~17:30
10月~3月 9:30~16:30
※入園は開園の30分前まで

休園日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌日)
年末年始

交通 JR中央線「武蔵小金井」駅よりバス5分 北口2・3番のりばから→「小金井公園西口」下車、徒歩5分
西武新宿線「花小金井」駅よりバス5分 「南花小金井」(小金井街道沿い)から武蔵小金井駅行き→「小金井公園西口」下車、徒歩5分
※こま園の際は公共交通機関をご利用ください。当園専用駐車場はありません。車の場合は、小金井公園内の有料駐車場をご利用ください。

入園料 一般 400円(320円)
中学生(都外)・高校生 200円(160円)
大学生(専修・各種含む) 320円(250円)
65歳以上の方 200円(160円)
※()は20名様以上の団体料金
小学生以下および都内在住・在学の中学生は無料

